

部 局 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

部局名	建設部	部局長名	石澤 一美
------------	-----	-------------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	60.8億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		85人	12人	97人

①部局の使命 (組織の存在価値)	<p>建設部の使命は、土木建築等所管事務を進め、以下のよう なまちづくりを行うことである。</p> <p>(1) 市民生活の安全・安心を実現する。 (2) 利便性の向上及び地域活性化、産業振興等のための基 盤の確立を目指す。 (3) 機能的で快適環境を目指す。</p>	②組織目標像	<p>【施策の目標像】</p> <p>(1) 安全・安心で快適な居住環境が確立している。 (2) ゴールド集落については、きめ細かな支援により集落の再 生を行う仕組みができています。</p> <p>【組織の目標像】</p> <p>(1) 職員の資質の向上が図られ、迅速かつ円滑な対応ができ、 支援体制も整った組織 (2) 部内各課・各グループが連携し、即対応 (3) いつでも明るく、声かけのできる建設部</p>
-----------------------------	--	---------------	--

平成23年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標 (めざそう値)	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況 (年度中間)	⑧年度末の達成状況
南九州西回り自動車道 の整備促進 【建設政策課】	(1) 川内 I C (仮称)～薩摩川内 都 I C間の建設促進	① 用地取得に対する支援 ② 関係各課及び各機関との協議 調整の促進	○ ① 要請に応じ、随時対応 (用地取得率：小倉地区 99%、高江地区 100%、隈 之城地区 93%)。事業認 定説明会 (8/25) ② 必要に応じ、協議・調 整	○ ① 要請に応じ、随時対応 (用地取得率：小倉地区 99%、高江地区 100%、隈 之城地区 96%)。事業認 定説明会 (8/25) ② 必要に応じ、協議・調 整
	(2) 阿久根市～薩摩川内市間の 環境アセス及び都市計画決定 の手續きの促進	① 期成会等による要望の実施	○ ① 阿久根～薩摩川内間の 早期事業化について国交 省に要望実施 (7/20、8/1、 11月予定)	○ ① 阿久根～薩摩川内間の 早期事業化について国交 省に要望実施 (7/20、 8/1、11/17、1/13) ・地元意見交換会 (11/8)

部 局 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

				・建設促進鹿児島県大会実施(8/19)		・建設促進鹿児島県大会実施(8/19)
川内川市街部改修等の促進 【建設政策課】	(1) 大小路地区改修の事業促進	① 期成会等による要望の実施 ② 関係機関及び地元等との協議調整の促進	○	① 河川事務所(7/20)、整備局(8/1) 要望実施 ② 必要に応じ協議・調整	○	① 河川事務所(7/20)、整備局(8/1) 要望実施 ② 必要に応じ協議・調整
	(2) 向田地区かわまちづくり計画の事業促進	① かわまちづくり推進協議会等の運営 ② 関係機関及び地元等との協議調整の促進	○	① 協議会開催(9/30) ② 必要に応じ協議・調整	○	① 協議会開催(9/30、3/16) ② 必要に応じ協議・調整(1/17、2/28)
藺牟田瀬戸架橋の建設促進 【建設政策課】	(1) 藺牟田瀬戸架橋関連工事の促進	① 関係機関及び地元との協議調整の促進	○	① 必要に応じ協議・調整 整備局要望(8/1)	○	① 必要に応じ協議・調整 整備局要望(8/1)
幹線道路の整備 【建設整備課】	(1) 横馬場田崎線鉄道交差部の早期完成	① J R九州への工事委託に伴う実施協定締結	○	① 実施協定締結(4/1) 仮設工施工中	△	①東日本大震災の影響(資材入手難)により約3ヶ月の遅れが生じた。
	(2) 村子田鹿子田線(西之原橋)の早期完成	① 早期発注及び工程管理	○	① 上部工発注(6/27) 上部工施工中	○	①上部工完成 供用開始(3/18)
公園緑地の整備 【建設整備課】	(1) 三堂公園の早期完成	① 早期発注及び工程管理	○	① 防球ネット工施工中	○	① 防球ネット・園路 駐車場完成 一部供用開始(4/1)
公園施設の維持管理 【建設整備課】	(1) 長寿命化計画の策定	① 長寿命化計画業務委託発注～計画書作成	○	① 業務委託発注(9/2) 計画書作成中(詳細点検)	○	①長寿命化計画策定完了
	(2) 公園施設の適正維持管理実施	① 指定管理者への指導及び履行確認(職員による公園巡視)	○	① 随時、公園巡視による履行確認実施	○	①適正な維持管理実施

部 局 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

道路・河川及び橋梁の適正な維持管理の実施 【建設維持課】	(1) 道路・河川の適正管理の実施	① 地元要望への迅速な対応、及び高齢者・過疎地域要望における刈払い等への迅速対応	○	① 要望対応については、迅速に対応している。また8月初旬を目途に高齢者・過疎地域を重点的に、刈払いを実施した。	○	① 高齢者・過疎地を重点的に刈払いを実施した。また要望対応も迅速に対応した。
	(2) 橋梁（15m未満）の長寿命化計画策定に係る詳細点検の実施	① 橋梁（15m未満）の詳細点検業務委託の早期実施	○	① 9月中に今年度分の委託業務を発注した。	○	① 全91橋のうち、調査済み48橋、調査中37橋、未調査6橋。 （平成24年度詳細点検完了予定）
川内川市街部改修に係る中郷五代線の整備促進 【都市計画課】	(1) 事業実施に向けた推進	① 事業認可に向けて関係機関との調整の積極的な促進 ② 用地買収等に着手	○	① 事業認可の申請中であるとともに、用地買収等の着手に向けて調整を図っている。	○	①事業認可取得（10月） ②用地買収等に着手
景観推進及び屋外広告物対策 【都市計画課】	(1) 景観啓発活動の推進 (2) 景観重要資産の指定及び整備維持管理 (3) 違反広告物の削減	① 景観提案制度の地区コミュニティ協議会との個別協議 ② 景観整備事業補助金による景観重要資産等の維持管理 ③ 一斉及び簡易除却による違反広告物の削減 ④ 屋外広告物運用基準の検討	○	① 上甕、里地区で事前説明会を実施した。 ② 景観重要樹木(南瀬の夫婦イチョウ)について、樹木保護のためのベンチ移設等の事業に対し、補助金の交付を決定した。 ③ 簡易除却を毎月2回実施したほか、金融関係違反貼紙を除却(500枚)した。 ④ 検討中	○	① 育英、朝陽、黒木地区と、提案書の提出について協議した。 ② 実施済み。 ③ 簡易除却を月2回実施したほか、12月には一斉除却を実施し、年間約800枚を除却した。 ④ 検討中
都市計画道路等の見直し	(1) 都市計画道路等の見直し	① 廃止及び変更が妥当と判断した路線の年次計画作成	○	① 廃止及び変更路線に係る都市計画変更の、年次	△	②廃止及び変更路線について、関係機関と協議中で

部 局 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

<p>【都市計画課】</p>		<p>② 関係機関との事前協議 ③ 都市計画審議会における審議</p>	<p>計画を作成した。 ② 廃止及び変更路線について、関係機関と協議中である。</p>	<p>ある。 ③都市計画審議会における審議（未実施）</p>
<p>土地区画整理事業の推進 【都市計画課】 【天辰区画整理推進室】 【入来区画整理推進室】</p>	<p>(1) 川内駅周辺地区については、98%の事業進捗の達成 (2) 天辰第一地区については、81%の事業進捗の達成 (3) 入来温泉場地区については58%の事業進捗の達成</p>	<p>【川内駅周辺地区】 ① 積極的な補助事業の活用による計画的な事業促進 ② きめ細かな地権者対応 【天辰第一地区】 ① 計画的な事業の推進 ② 地権者へのきめ細やかな対応及び積極的な交渉 ③ 財源の確保 【天辰第二地区】 ① 関係機関との協議 ② 細やかな住民説明 【入来温泉場地区】 ① 計画的な事業推進 ② きめ細かな地権者対応 ③ 財源の確保に伴う資金計画の見直し作業</p>	<p>○ 【川内駅周辺地区】 ① ・平佐・加治屋馬場線の整備（歩道含む）を計画どおり完了した。 ・横馬場・田崎線工事（JR委託分）を施工中である。 ・換地計画(案)の作成に着手した。 【天辰第一地区】 ① 計画的な事業推進に向け、地権者及び関係機関との協議を進めている。事業計画変更説明会開催(4/28) 事業計画変更（第6回）県承認(7/10) ② 財源確保に向け、一般保留地等の売却を促進した。 保留地情報のホームページ掲載</p>	<p>○ 【川内駅周辺地区】 ①横馬場田崎線を計画的に整備促進した。 地区内の道路整備については、横馬場田崎線を除き完了した。 換地計画(案)作成を予定どおり促進した。 進捗率98%達成 ②換地計画作成に伴う説明会(2回)・アンケート調査等を実施し、地権者の意見聴取に努めた。 【天辰第一地区】 ① 整地工事など計画的に進めた結果、事業進捗率約81%(事業費ベース) ② 平成23年度から墓地移転の協議開始 ③ 財源確保のため保留地の処分を促進した。</p>

部 局 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

				現地看板の設置 保留地情報の庁内掲示 【天辰第二地区】 ① 事業実施に向け、環境影響評価を引き続き実施するとともに、国・県及び庁内各課との協議を進めた。 【入来温泉場地区】 ① ・実施計画変更に伴う、業務委託を発注 ・計画的な建物移転契約(18件)及び建物等の調査(9件)を実施 ・建物移転先の造成工事(5件)を発注	【天辰第二地区】 ① 国・県等との協議実施環境影響評価の中間報告会開催 【入来温泉場地区】 ① ・実施計画変更手続中 ・入来温泉場地区の事業進捗率 56.1%	
中心市街地借上型市営住宅整備 【建築住宅課】	(1) 選定事業者による住宅建築着工	① 事業者の選定 ② 事業者による工事着工(工事完成予定日 平成24年10月) ③ 賃貸借に関する協定の締結	○	① 5月に事業者の選定を完了した。 ② 確認申請を完了し次第、工事着手の予定。 工期 平成24年8月 ③ 協定締結 7月6日	○	① 建築確認済証交付年月日 平成23年12月7日 ② 工期 平成23年12月着手 平成24年8月完成予定
借上型地域活性化住宅の推進 【建築住宅課】	(1) 借上型地域活性化住宅の建設 3地区 各2戸 計6戸	① 借上型地域活性化住宅条例の制定 ② 祁答院黒木地区コミとの協議 ③ 建設予定地区コミとの協議 ④ 事業者募集と年度内建設	○	① 借上型地域活性化住宅条例を整備中である。 ② 祁答院の黒木地区、川内の平佐東地区、入来の大馬越地区の地区コミと協議を実施した。	○	① 借上型地域活性化住宅条例として検討したが、現状にそぐわず、要綱として再度検討する。 ② 平佐東地区と黒木地区とも、事業者が決定し、

部 局 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

				③ 平佐東地区と大馬越地区についても、候補地選定の進捗状況に左右されるが、年度内完成を予定している。 ④ 祁答院の黒木地区は候補地が決定し、事業者を募集中である。 完成予定 24年3月	事業に着手している。 ③ 完成予定 平佐東地区は、平成24年6月、黒木地区は、平成24年8月である。 ④ 大馬越地区については、地元で候補地を選定できなかった。	
市営住宅の適正な管理 【建築住宅課】	(1) 住宅使用料の徴収率の向上	① 住宅使用料徴収嘱託員の採用 ② 滞納者への訪問活動の強化	○	① 住宅使用料徴収嘱託員を採用し、計画的に滞納者世帯への臨戸訪問を実施している。 ② 口座振替不能になった者へ電話で口座振替不能になった旨を伝え、納入方を依頼している。 課内の職員も滞納者への訪問実施している。	○	① 住宅使用料徴収嘱託員を採用した結果、2月末現在で昨年度より1.4ポイント向上した。 ② 口座振替不能になった者へ電話で口座振替不能になった旨を伝え、納入を依頼している。 納付相談後の収納確認を定期的実施し、滞納となった入居者については、徴収嘱託員へ情報を提供し、臨戸訪問している。
	(2) 返済不能に陥っている高額滞納者の不納欠損処理の研究及び実施	① 資料収集及びまとめ ② 収納対策課に調整依頼 ③ 債権管理条例制定に向けた協議	○	① 県内で不納欠損処理を実施している市町村で研修を受けた。 ② 収納対策課に調整を依頼中である。 ③ 収納対策課で検討中	△	① 他市町村の手法を参考に、収納対策課と検討を進めているが、法制上の問題で苦慮している。 ② 今後も研究していく。

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

平成23年度

空き家廃屋調査事業の推進 【建築住宅課】	(1) 有効活用可能な民間空き家住宅の調査 (2) 倒壊危険度の高い住宅の実態調査	① リフォームすれば有効活用できる民間の空家住宅をリストアップ ② 今後地域活性化・定住促進住宅としての活用推進 ③ 倒壊危険廃屋の管理者への適正管理指導	○ ① 地区災害調査員による一次調査の結果を元に、リストアップした。 ② 空き家 160 件の絞込み調査を職員で実施中。現在、所有者等に対して、意向調査実施中。 ③ 調査業務委託を発注(空き家 160 件、廃屋 950 件について調査委託)業務委託は廃屋調査が 70%完了。完了次第、指導に入る。	○ ① 調査業務委託完了 ② 空き家については、市の借り上げ等の有効活用を検討する。 ③ 廃屋については、家屋解体補助制度の整備状況をみながら、適正管理の指導を行う。
がけ地近接住宅対策 【建築住宅課】	(1) 5 件の補助採択	① 広報紙への折込チラシによる制度内容の周知徹底 ② 該当世帯への直接説明	○ ① 市広報誌 (5/25 号) に 1 枚刷りで制度案内と募集実施 ホームページの更新を実施。 ② 相談は随時実施。相談者へは、直接説明実施。	○ ① 広報紙、ホームページ掲載実施 まちづくり出前講座の開催 (3/19) 除却 2 件、建築 1 件
民間住宅の耐震化 【建築住宅課】	(1) 5 件の補助採択	① 広報紙への折込チラシによる制度内容の周知徹底 ② 建築関係団体への積極的情報提供と協力依頼	○ ① 市広報誌 (5/25 号) に 1 枚刷りで制度案内と募集実施 7 月～8 月にかけて耐震補助制度の広報の効果について市政モニターへのアンケートを実施した。(83 人中 75 人から回答) ② 関係団体の総会等で情報提供及び協力依頼を行	○ ① 広報紙、ホームページ掲載実施 まちづくり出前講座の開催 (3/19) ② 新たな補助制度の検討(薩摩川内市既存住宅改修環境整備事業)

部 局 経 営 方 針

平成23年度

薩摩川内市

地籍調査事業 【用地課】	(1) 現地調査面積 4.64k m ² を実施 ・ 入来地区 1.55k m ² ・ 祁答院地区 3.09k m ²	① 計画地区の調査業務を円滑に推進	○	った。 ① 調査業務を進行中 ・ 入来地区 30% ・ 祁答院地区60% (9月末現在進捗率)	○ ① 調査業務完了 ・ 入来地区 100% ・ 祁答院地区100% (3月末現在進捗率)
公共用地の未登記処理 【用地課】	(1) 200件の処理	① 関係地権者への積極的な交渉の実施 ② 公共嘱託登記協会の積極的活用	○	① 登記完了193件 ② 公共嘱託登記協会へ2件発注 (①②とも9月末現在)	○ ① 登記完了511件 ② 公共嘱託登記協会へ14件43筆発注 関係地権者へ積極的な交渉を実施した。
⑦年度中間総括	・ 概ね計画どおり取組ができており、今後も計画的に取組を継続していく。				
⑨年度末総括	<p>・ 全体を通じ概ね計画的に推進できた。</p> <p>(1) 安全・安心のまちづくり 川内市街部改修事業の用地取得も始まり、向田地区かわまちづくり計画事業に伴う協議会の開催、関係機関との調整や都市公園における公園施設の安全性等を高めるため公園の長寿命化計画策定を行うなど事業の促進を図った。また、空き家廃屋調査を完了したことから、今後、空き家の有効活用や廃屋について、適正管理の指導を行っていくこととなる。</p> <p>(2) 利便性の向上及び地域活性化、産業振興等のための基盤の確立（交通ネットワークの整備） 村子田鹿子田線（西之原橋）の供用開始、南九州西回り自動車道の宮里トンネルの工事発注、藺牟田瀬戸架橋の橋梁工事の着手及び3号トンネルの貫通など整備の促進を図った。また、南九州西回り自動車道の小倉地区の用地買収に目処がついたことで、高江～水引間の平成24年度内供用が確実に出来る見通しとなった。</p> <p>(3) 機能的で快適環境のまちづくり 川内駅周辺地区土地区画整理事業による平佐加治屋馬場線の完成、天辰第一地区土地区画整理事業の事業計画変更を行うなど事業の促進を図った。また、向田地区において、利便性の高いまちなかでの居住促進を図り中心市街地の活性化に寄与する中心市街地借上型市営住宅の工事に着手した。</p>				